

経営比較分析表（平成30年度決算）

神奈川県川崎市 多摩病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
指定管理者(利用料金制)	32	対象	透I未	救臨災地輪
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	看護配置	
1,500,460	35,620	非該当	7:1	

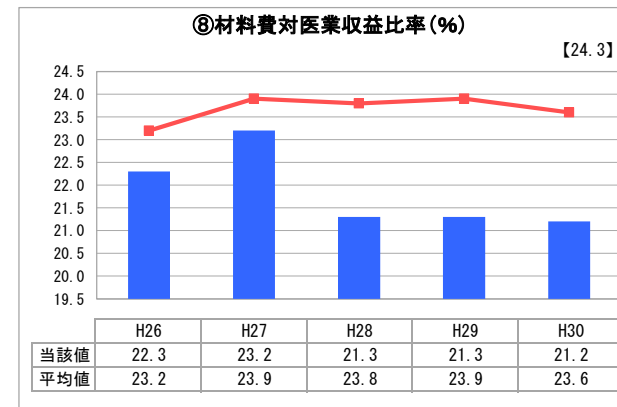
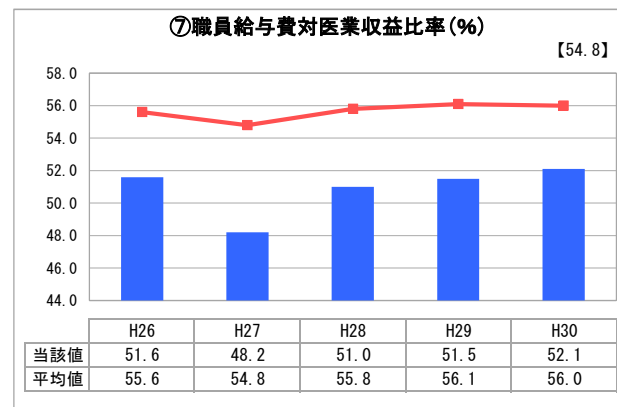
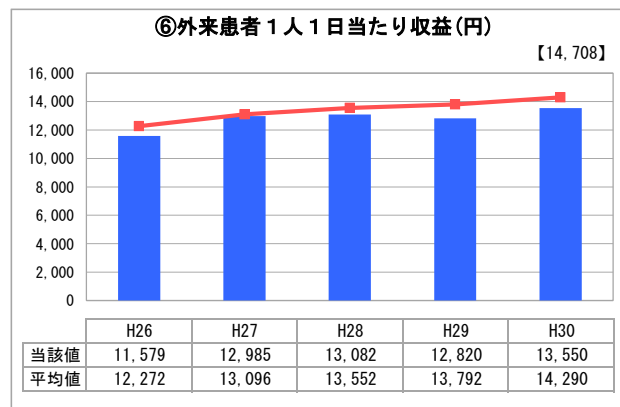
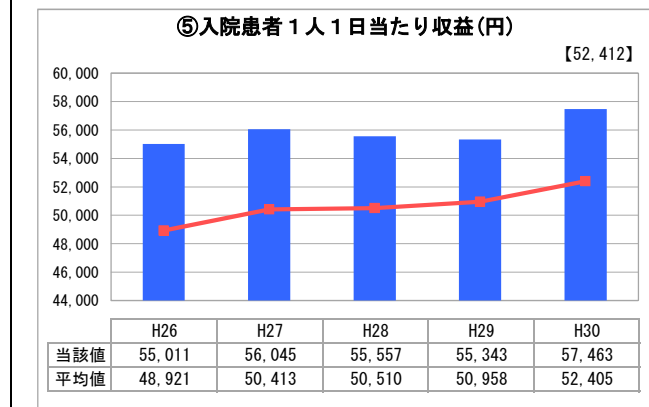
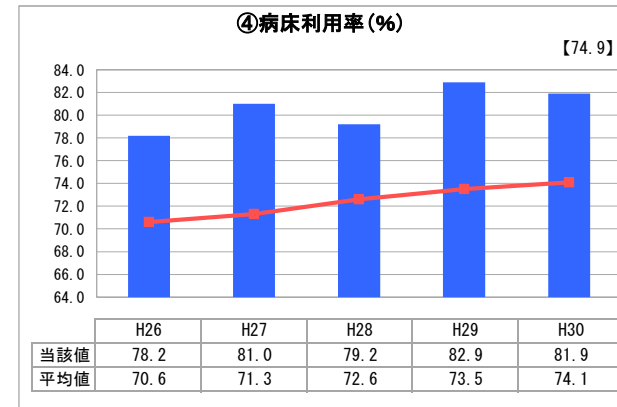
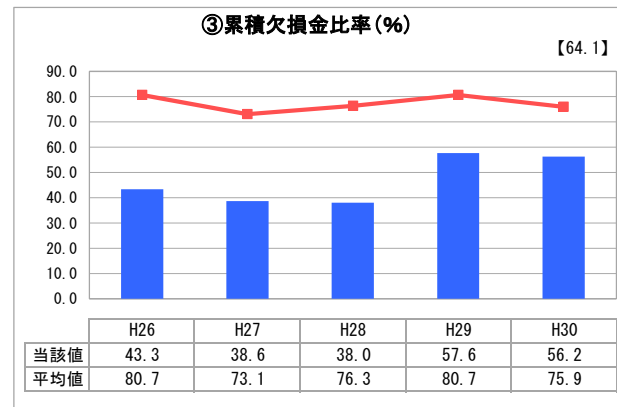
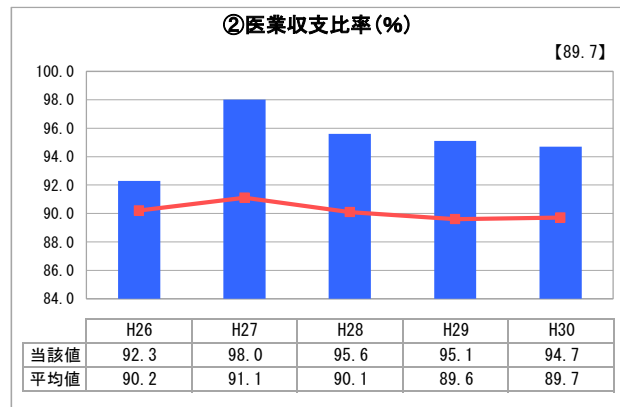
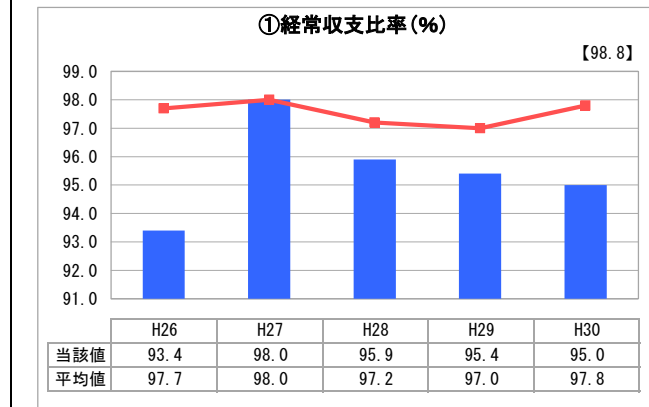
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

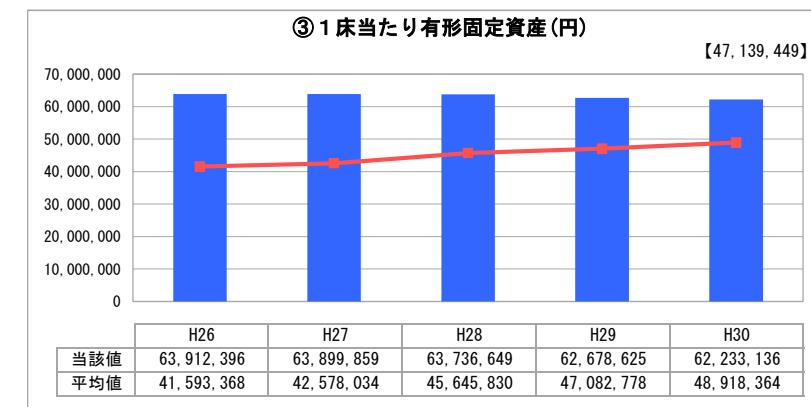
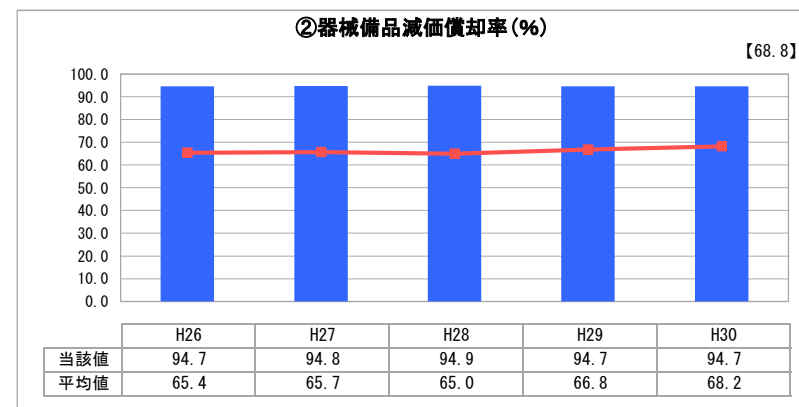
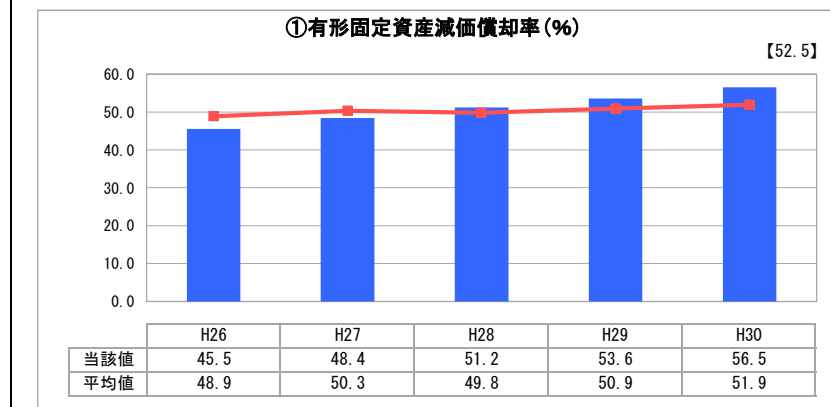
許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
376	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	376
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
376	-	376

グラフ凡例	
■	当該病院値(当該値)
—	類似病院平均値(平均値)
【	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-年度	-年度	平成17年度

I 地域において担っている役割

北部地域の中核病院として、小児救急を含めた救急医療を中心に、高度・特殊・急性期医療などを提供するとともに、災害拠点病院としての役割を担っている。
また、地域医療支援病院として、地域のかかりつけ医等と連携し、これらを支援しながら地域全体の医療供給体制の向上を図っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①②平成18年の開院当初から指定管理者制度を導入し、効率的な病院運営を推進している。経常収支比率は平均を少し下回っているが医業収支比率は平均を大幅に上回っている。③累積欠損金比率は平均を大幅に下回っている。④病床利用率は、地域医療連携の推進と救急患者の積極的な受入れなどにより、平均を上回っている。⑤⑥医療の質の向上と地域医療連携の推進などにより、入院診療単価は平均を大きく上回っている。外来は概ね平均をわずかに下回る程度で推移している。⑦⑧職員給与費対医業収益比率、材料費対医業収益比率ともに、指定管理者の効率的な病院運営により類似病院平均値よりも低い値で推移している。

2. 老朽化の状況について

①開院から12年が経過しており、有形固定資産減価償却率は類似病院平均値を少し上回っている。②機械備品減価償却率は、類似病院平均値よりも大幅に高くなっているが、これは開院当初に市側で整備した既に耐用年数を経過している資産が大部分であり、開院後に指定管理者側で整備した機械備品は含まれていないためと考える。③1床当たり有形固定資産は、類似病院と比べて高い値になっているが、これは都市部における建築単価が高いことが一因となっているものと考えられる。

全体総括

○本市では、平成27年度に新公立病院改革プラン(「川崎市立病院中期経営計画2016-2020」)を策定し、経営改善に取り組んでいる。
○今後も指定管理者制度による効率的な病院運営を引き続き推進するため、外部有識者等第三者からの意見聴取も含め、モニタリング・事業評価を適切に実施していく。
○施設の経年劣化に対しては、指定管理者との協議に基づく施設・設備の適切な維持・更新を実施していく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。